

令和6年度学校関係者評価委員会 記録

評価委員

立川メディカルセンター常務理事 晴麗看護学校長 上原徹

悠遊健康村病院 リハビリテーション科 技師長 近藤公則

悠遊苑 リハビリテーション科 主任 平原奈緒美

晴陵リハビリテーション学院 学院長 吉井新平

晴陵リハビリテーション学院 理学療法学科 学科長 橋本尚幸

晴陵リハビリテーション学院 作業療法学科 学科長 上杉文都

晴陵リハビリテーション学院 事務長 五十嵐孝之

令和7年3月21日

学校関係者委員会を開催し、委員の皆様より意見をいただきました。

頂いた意見をふまえ、今後の学院の運営、教育現場の改善に反映をさせていきたいと考えています。以下の通り記録します。

事務局説明・委員会意見

(1)教育理念・目標について

本年度も大学等における修学支援に関する法律第7条第1項の確認に係る申請（高等教育修学支援新制度）及び許可を頂いたため、教育理念、教育目標等の情報公開を行なっております。

(2)学校運営

高等教育修学支援新制度の関係もあり、情報開示、意志目的の共有などを行なっています。ブログ・SNS を使った情報発信も継続して行っておりますが、なかなか反応が見えない手探りの状態が続いています。

委員会

・学校の運営全般については、昨年同様制度に合わせ適切に行われていると思います。

・学校側からの情報発信の手段や方法について、現役の学生やオープンキャンパスに参加した方々にアンケートを取り、若者からの意見を参考にするのはどうか。

(3)教育活動

各学生からの授業評価の反映と、臨床実習指導者会議や実習地訪問などを利用し、実習指導者などから情報収集し、今後の教育活動に反映させていきます。

また、グループ病院における臨床への参加も徐々に進んでおります。

委員会

- ・グループ病院とはお互いの現状や教育方法について情報を共有し、お互いがプラスになっていくよう引き続き連携していけたらと思います。
- ・教員の質向上のため、様々な研究会、学会などへ積極的に参加できる環境づくりやグループの晴麗看護学校の教員との恒久的な連携、協力関係を継続してほしい。

(4)学修成果

学生管理システムを利用し、卒業生情報の更新・管理も継続して行っています。実習地訪問や来校した卒業生からも情報収集をし、獲得した情報の共有を進めています。

委員会

- ・入学者の退学率を減らすことが何としても重要である。学生の個別指導の強化、生活環境の把握などを重点的に行っていただきたい。
- ・学生の医療レベルの向上は当然であるが、医療人としてより社会人としての常識・教養を養えるような基礎的な教官が必要であると考えます。また、SNS などの使用にあたっては法令にのっとった対応をすることを常に教育する必要がある。

(5)学生支援

中学校の上級学校訪問や外部研修会への会場貸出、卒業生の勉強会なども復活いたしました。来年度に向けて就職説明会は、学生の活動時期も考え、前倒しする予定です。

委員会

- ・会場の貸し出しや卒業生の勉強会の再開は好ましいことと思われる。
- ・病院施設の求人募集時期が早まっている印象がある。就職説明会の前倒し開催は、学生・募集施設双方に良いと思う。
- ・保護者に対する定期的な説明会の実施も考慮してほしい。

(6)教育環境

学内での LAN 環境が整ったので、学生に開放できるように進めています。今後は使用に関する規程の整備や電子教科書の導入、授業でのタブレットの端末利用なども含め、検討していきます。

委員会

- ・ICT 化に必要な環境整備は良いと思われ、さらなる整備を期待したい。
- ・校内 LAN 環境によって電子化に移行し、学生にとって学習面もメリットが大きいと思います。学院のアピール材料にもなると思います。

(7)学生の受入れ募集

今年1月末より改善チームを立ち上げ、広報・体験入学会・入試の3分野会を立ち上げ、入学生数増に向け動いております。パンフレットの内容変更、体験入学会の開催時期、内容の検討、入学試験の種類、内容、時期に関して来年度変更する準備を進めています。

委員会

- ・1月に立ち上げた改善チームに期待したい。
- ・学生確保の為にチームを立ち上げるなど、具体的な動きが出てきて今まで以上に意識を持たれていると思います。引き続き SNS やブログ等で学院の魅力を発信していくことは良いと思います。可能であれば各高校の進路指導の先生へのアナウンスはどうか。
- ・学生募集には SNS/ホームページなどが重要なアイテムであるので有効に使ってほしい。

(8)財務

ホームページに情報公開しています。

(9)法令等の遵守

必要な条件は満たしています。

(10)社会貢献

昨年同様、サークル活動などで学生から申し出があった場合は、前向きに対応していきます。中学生などの上級学校訪問は、特別な事情がない限り受け、職業啓発をしていきます。ほか、次世代への職業啓発イベントへの参加やながおかミライエでの公開講座を行うべく準備を進めています。

委員会

- ・この職業に興味を持ってもらうには、先ず知ってもらうことが大切であり、イベント参加やミライエでの公開講座の開催に期待したい。

事務局総括

前年の教育評価からの流れで、作業療法学科は WFOT の基準に変更があったため、外れることになりました。教育評価としては、問題なく評価いただきましたのでこのまま継続していきたいと思っております。開校から30年を迎え、ハードソフトの両面で更新が増えてきています。材料費等の高騰も影響してきています。当学院の収入源は、学生からの納付金がほとんどですので、入学生数を増やすべく、学生募集強化を行ってまいります。

委員会

- ・自己評価及び客観的な状況を判断すると概ね良好な対応がなされていると考えられる。最も力を入れていただきたいのは、なるべく定員数に近い入学者を集め、なるべく退学者を減らすことであろう。それにより健全な学院運営が可能になる。引き続き関係者の尽力を期待する。

晴陵リハビリテーション学院 自己評価表

R7.2.28 実施

1. 学校の教育目標

1. 理学療法士・作業療法士に必要な確かな知識・技能を身につけた人材の育成。
2. 専門能力を発揮するために挨拶、礼儀、言葉遣い、道徳、協調性などの人間として基本的な態度を養い現場で活躍することができる人材の育成。
3. 明るく、たくましい心を培い、相手の立場に立ち共感し、思いやりを持った関わりができる人材の育成。
4. 自主自学の精神の基、修得した知識・技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を育み主体的に学び続けることができる人材の育成。
5. リハビリテーションチームの一員として将来、社会で活躍するために必要な真摯な態度と謙虚な姿勢、内省力、発信力を身につけた人材の育成。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

学校説明会・体験入学会など広報活動をしっかりと行い、入学者数定員（各40名）を確保する。

退学者の減少を図る。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1	摘要
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	④・3・2・1	
学校における職業教育の特色は何か	④・3・2・1	
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	④・3・2・1	臨床実習指導者会議や実習地訪問などの機会を活用
学校の理念・目標・育成人材像・特色・未来構想などが学生・保護者等に周知されているか	④・3・2・1	HP、パンフレット等に記載
学校の理念・目標・育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4・③・2・1	

I. 課題

II. 今後の改善方策

III. 特記事項

(2) 学校運営

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1	摘要
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4・3・2・1	職員間で共有されているが明文化されていない
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4・3・2・1	事業計画は策定されている
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4・3・2・1	一部学則に記載し、運用
人事、給与に関する規程等は整備されているか	4・3・2・1	医療法人に準ずる形で整備されている
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4・3・2・1	
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4・3・2・1	行政指導に従い行なわれている
教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4・3・2・1	適切に対応している
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4・3・2・1	業務の効率化を拡大中

I. 課題

- ・明文化されていない部分がある

II. 今後の改善方策

- ・不足している部分の明文化

III. 特記事項

(3) 教育活動

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1	摘要
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④・3・2・1	
教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④・3・2・1	
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④・3・2・1	
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④・3・2・1	
関連分野の企業・関係施設等や業界団体等の連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	④・3・2・1	臨床実習指導者会議や学校関係者評価、グループ病院との連携を利用している
関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	④・3・2・1	
授業評価の実施・評価体制はあるか	④・3・2・1	
職業教育に対する外部関係者の評価を取り入れているか	④・3・2・1	リハビリテーション教育評価機構
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④・3・2・1	
資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④・3・2・1	
人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④・3・2・1	
関係分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務を含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	④・3・2・1	医療法人と連携をとるなどしている

<p>関連分野における先端的な知識・技術等の修得のための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか</p>	<p>4 ・ 3 ・ 2 ・ 1</p>	<p>関連病院での実務参加をし、教員の知識・技術のバージョンアップができる機会がある</p>
<p>職員の能力開発のための研修等が行われているか</p>	<p>4 ・ 3 ・ 2 ・ 1</p>	<p>全員ではないが関連病院等で実地に関わる機会を設けている</p>

I. 課題

- ・ 医療グループであることの強みをさらに生かしていきたい。

II. 今後の改善方策

- ・ 教員が現場に出る機会は増えてきているが、今後も増やしていきたい。
- ・ 臨床現場との人材交流

III. 特記事項

(4) 学修成果

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1	摘要
就職率の向上が図られているか	④・3・2・1	全体で就職指導、就職相談会の実施等
資格取得率の向上が図られているか	④・3・2・1	国家試験特別講座等の実施
退学率の低減が図られているか	4・③・2・1	個別指導等の実施 休学規定の変更
卒業生・在学生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4・③・2・1	同窓会との連携ができつつある
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4・③・2・1	機会あるごとに卒業生の情報を収集してる

I. 課題

・機会があれば卒業生の就職後の様子を聞くことはあるが、とりたてて把握する活動をしていない

II. 今後の改善方策

- ・実習地訪問などの機会の利用し、卒業生の現状確認
- ・収集した情報の学生管理システムへの反映

III. 特記事項

(5) 学生支援

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1	摘要
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④・3・2・1	就職相談会、個別指導の実施
学生相談に関する体制は整備されているか	④・3・2・1	担任制、スクールカウンセラー配置
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④・3・2・1	納付金の2期分納、特待生制度、公共制度申請など
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④・3・2・1	病院と連携し、健康診断実施、感染症抗体検査やフォロー
課外活動に対する支援体制は整備されているか	④・3・2・1	学校施設の活用等
学生の生活環境への支援は行われているか	④・3・2・1	スクールカウンセラー配置
保護者と適切に連携しているか	4・③・2・1	定期的なものはないが必要に応じて実施
卒業生への支援体制はあるか	④・3・2・1	勉強会等実施 施設の貸出
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4・③・2・1	個別で対応している
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	④・3・2・1	中学校・高校の学院訪問受け入れや職業啓発活動

I. 課題

II. 今後の改善方策

III. 特記事項

(6) 教育環境

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1	摘要
施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	④・3・2・1	必要な要件を満たしている
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	④・3・2・1	必要な要件を満たしている
防災に対する体制は整備されているか	④・3・2・1	必要な要件を満たしている

I. 課題

・ICT への対応

II. 今後の改善方策

・ICT への対応

III. 特記事項

(7) 学生の受入れ募集

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1	摘要
学生募集活動は、適正に行われている	④・3・2・1	
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④・3・2・1	
学納金は妥当なものとなっているか	④・3・2・1	

I. 課題

- ・ 広報の手段、方法、内容の見直しは常に必要
- ・ ホームページの見直し
- ・ 体験入学会の見直し
- ・ 入試の見直し

II. 今後の改善方策

- ・ 県内外の高校訪問の充実
- ・ ICT化
- ・ SNSの活用

III. 特記事項

(8) 財務

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1	摘要
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	④・3・2・1	
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4・③・2・1	部分的に達成できていない
財務について会計監査が適切に行われているか	④・3・2・1	
財務情報公開の体制は整備できているか	④・3・2・1	

I. 課題

- ・入学生の安定確保

II. 今後の改善方策

- ・学生募集活動、入試の見直し

III. 特記事項

(9) 法令等の遵守

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1	摘要
法令・専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④・3・2・1	
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④・3・2・1	
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	④・3・2・1	
自己評価結果を公開しているか	④・3・2・1	

I. 課題

II. 今後の改善方策

III. 特記事項

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1	摘要
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	④・3・2・1	体育館の貸出など
学生ボランティア活動を奨励、支援しているか	4・3・②・1	特別なことはしていない
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4・③・2・1	依頼されたものは受けている

I. 課題

II. 今後の改善方策

III. 特記事項

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

開校30年を迎え、昨年からの課題でもある学生募集等について大きな転機を迎えている。30年の経験と実績、医療法人に支えられた教育環境を生かし、新たなステージへ移行する。入学生に見られる変化には教員がしっかり対応できており、修学の確立がなされている。昨年整備したIT環境を学生に開放する準備と電子教科書の導入なども進めていく。1月末より本格的に広報や入試制度などの見直し入っているので、来年度より実施できる状態を作り、入学生数の向上・安定に努めていきたい。